

東灘小学校区防災福祉コミュニティ 津波防災マップ

令和4年3月

もしもの時のために、家族で必ず話し合っておこう

■わが家の防災メモ（もし巨大地震にともなう津波がきたら）

わが家は _____ 阪神電車より南のエリア ・ 阪神電車より北のエリア

緊急連絡先

氏名 _____ 電話 _____ 氏名 _____ 電話 _____

家族の連絡先

氏名 _____ 連絡先 _____ 電話 _____

氏名 _____ 連絡先 _____ 電話 _____

氏名 _____ 連絡先 _____ 電話 _____

氏名 _____ 連絡先 _____ 電話 _____

避難場所への移動にかかる時間 昼だと _____ 分 | 夜だと _____ 分

避難が津波の到達に間に合わない場合の対策

ひとりである場合に地震が起こった場合の対策

1

津波の情報を知るには…

津波から身を守るには、複数の情報源を持つことが重要です。
(停電で情報伝達が止まる・事故で情報が届かないなどの危険をさげましょう)

情報収集・伝達的手段

- テレビ・ラジオ
- ひょうご防災ネット
- 緊急速報メール（エリアメール）
- 広報車（消防車等）
- 防災行政無線（スピーカー等）
- インターネット

例えば電子メールサービス（ひょうご防災ネット）なども、いざという時役に立ちます

メールアドレスを登録しておく、緊急情報のお知らせメールが届きます。今すぐ登録しておきましょう。



<http://bosai.net/>

お問合せ：神戸市危機管理室 TEL 322-6232

新・避難の考え方 ～在宅避難の可能性も検討して！～

東灘小学校区は、大変マンションの多いエリアです。特に阪神淡路大震災（1995年）以降に建設されたマンション等は、地震への対策がなされているため、大きな地震がきてもほぼ倒壊することはないと考えられます。

また、阪神電車よりも山側に住む皆さんは、ご自宅まで津波が押し寄せる危険はほとんどないため、自分の住まいが丈夫だと思える方は、**ご自宅にとどまることも安全な「避難」の形**である可能性が高いです。（最終的にはご自身の判断によってください。普段から、自分の家のリスクについて考えておくことはとても重要です。）

また、地震後の生活においては、電気・水道・ガスの供給停止など不便な生活を強いられることが想定されますが、感染症などのリスクも考えると、指定避難所などの人の多い場所に行くことよりも、安全な自宅にとどまる「在宅避難」も「避難」といえます。

*1995年以降に建設された建物は新耐震基準（1981年制定）に適合しています。

できるだけ快適な在宅避難生活を送るために

在宅避難を選ぶにあたっては、電気・水道・ガスが止まっても3日～1週間程度は、自宅内で家族全員が暮らしていけるような備えをしておくことが必要です。

在宅避難でまず困るのは「トイレ」です。地震後は水道が使えるかどうか分からず、トイレの水を流せるかどうか分かりません。**災害用の携帯トイレなどを人数分用意しておくことが最も大切です。**

さらに**飲料水を確保しておく**ことも大切です。食糧は、普段から**ローリングストック**により、家族全員の3日～1週間の備蓄を常に蓄えておくことで万一の時にも安心です。冷蔵庫に残っている食材を調理するには**カセットコンロが役に立ちます**ので、ご家庭にない場合はぜひ備えておくことをおすすめします。

また、懐中電灯などの明かりを準備する、発電機または蓄電池、消火器などを備えておくなどの工夫も役に立ちます。その他にも、災害時に家から出ないでしばらく生活することを想定して、普段から必要なものを用意しておくことが大切です。ぜひご家族で考えてみてください。



3

もしも、南海トラフ巨大地震がおきたら…

●大きな揺れが発生します

南海トラフ巨大地震による**最大震度は東灘区で震度6弱**といわれており、**ゆっくりとした大きな揺れが1～2分続く**と予想されています。

地震のゆれと被害の想定				
震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
多くの人が恐怖を感じる	ものにつかまらな いと歩けない	立っているのが 困難な状態	這わないと 動けない	全く動くことが できない
吊り下げ電灯は激しく揺れ、家具が移動する	窓ガラスが割れ、固定していない家具が倒れる	窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなることがある	家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える	大きな地割れや地すべり、山崩れなどが発生

●津波が発生します

M9クラスの南海トラフ巨大地震が発生した場合、東灘区付近には、地震発生後**100～110分**で津波が襲ってくる可能性があります。阪神電車の南側にいる人は阪神電車より北側に避難してください。

地震がおきたら、まず…

●まず自分の命を守る行動をとって下さい

まずテーブルの下に入るなど頭を守る行動をとってください。揺れがおさまったら火の元の確認と出口の確保をします。

まずは身の安全を！

足元に注意する！

冷静に出口の確保！

火が出たら消火を！

避難は徒歩で！

塀や川べりを避けて！

正しい情報をキャッチ！

皆で協力声掛け避難！

2

災害に備えて準備しておきたいもの

大規模の災害が起こると広範囲に被害が起こるため、あなたのところにすぐには救助が来ないかもしれません。

最低3日間は救助が来なくても生きていけるよう準備をしておきましょう。



停電した時のために

- 携帯ラジオ（電池式のもの）
- 懐中電灯（できれば1人に1つ）
- 予備の乾電池（多めに）
- 携帯電話



水道が止まった時のために

- 紙皿・紙コップ
- 割り箸
- ラップ
- ウエットティッシュ
- 災害用携帯トイレ



ガスが止まった時のために

- カセットコンロ

生活用品

- ヘルメット・防災ずきん
- マスク・ゴーグル
- 軍手・ゴム手袋（厚手のもの）
- 雨具（レインコート）
- ホイッスルなど（助けを呼ぶのに役立ちます）



飲料水・非常食（調理せずにそのまま食べられるもの）

- ミネラルウォーター
- 乾パン・クラッカー
- 缶詰（缶切りも）
- 離乳食・粉ミルク
- ペットフード（缶詰など）



避難所に避難する時に役立つもの

貴重品

- 現金（公衆電話用に10円硬貨も）
- カード類
 - マイナンバーカード
 - 免許証
 - 健康保険証



応急医薬品

- 絆創膏
- ガーゼ・包帯・三角巾
- はさみ・ピンセット・刺抜き
- 消毒薬・脱脂綿
- 傷薬
- 風邪薬・胃腸薬
- 鎮痛剤・解熱剤
- 目薬
- 【持病のある人は】常備薬



生活用品

- 上着類（着替え用）
- 下着類（着替え用）
- 洗面用具
- タオル・ハンカチ
- ティッシュ・トイレットペーパー
- 生理用品
- 紙おむつ
- メガネ・コンタクトレンズ
- ビニール袋
- ナイフ
- 補聴器
- モバイルバッテリーなどの充電器



その他必要に応じて

- 離乳食・粉ミルク
- 食べ慣れたお菓子など
- お気に入りのおもちゃ
- ペットフード（缶詰など）



4